

神奈川県立こども医療センターオレンジクラブ



# ボランティアニュース

236号 2023年8月号

発行 神奈川県立こども医療センター オレンジクラブ事務局

編集責任者 ボランティアコーディネーター 加藤 悦興

〒232-8555 横浜市南区六ツ川 2-138-4 Tel. 045-711-2351 (代表)

ホームページ <https://orangeclub.kcmcvolunteer.com>

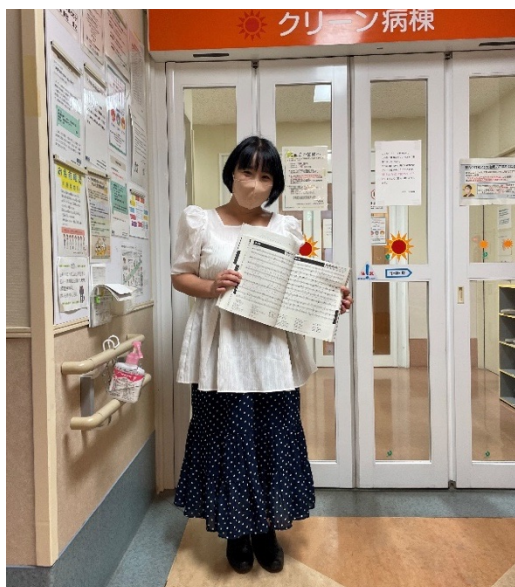
ブログ <https://blog.kcmcvolunteer.com>

## 4年ぶりのスマイリングホスピタルジャパン (SHJ) の対面活動！

6月から4年ぶりにお一人ずつに短時間で楽しい時間を作って下さっているSHJの皆さんをご紹介します。SHJは認定NPO法人で、オレンジクラブの会員です。プロのアーティストの方々が病院などで、病気や障がいと闘う子どもたちやご家族に芸術を届ける活動をされています。新型コロナウイルス流行前には、毎月4回5西病棟をはじめ多くの病棟でイベントを開催していました。コロナ禍の中ではオンラインイベントを重心施設ひだまりで行っていました。

写真は、6月HCU2で風船アートのひとみさん、7月パフォーミングアーティスト徳島ハッチさん、8月ピアニスト堀口眞理さんです。写真の後に眞理さんからのメッセージを載せています。クリーン病棟は年齢の幅が大きいので、アンパンマンをはじめ、いろいろなアニメソングが演奏され、楽しい時間でした。ありがとうございました。(ボランティアコーディネーター 加藤)





SHJ ピアニスト/声楽家 堀口 眞理

数年ぶりにクリーン病棟にて、対面によるスマイリングホスピタルジャパンの活動(ピアノ演奏)をさせて頂きました。加藤コーディネーターをはじめ、保育士さんや病棟スタッフの皆さまが温かい雰囲気であげて下さり、とても活動し易かったです。

お子さま達の様子をみて、参加し易いように話しかけて下さる保育士さん、親子で音楽を聴く様子を見て、温かい御言葉かけをされているスタッフの方々を前にして、本当に素敵な病院だな…と改めて感じました。

短時間ではございましたが、心優しいお子さま達やその御家族さまと音楽を通して御一緒できたことに、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

### ぽぽんた通信 63

(真夏の雪ダルマの心境の) キクちゃん

7月13日(水) ぽぽんたは、子ども医療センター講堂で対面ミーティングを行いました。対面で皆に会うのは3年振りです。ぽぽんたは毎月第一水曜日にZOOMミーティングで行って来ました。ZOOMミーティングの招待は、毎回 高橋康子さん 渡辺千春さん 高橋裕美子さんの3人にお任せです。ぽぽんたのメンバーはほとんどがPCオンチなので、この3人のお蔭で、何とかZOOMミーティングが出来るようになり、続ける事ができました。感謝 感謝 です。次回からは対面ミーティングになります。とは言っても何時 感染症がぶり返すか分からないので今を大事にして活動を続けます。

今回の議題は、

1 池波文庫の購入本 20,000 円分の選書。2 かく病棟での対面おはなし会について  
1の選書は皆さんからの希望図書を募り、リーダーがリストを作りました。  
中でも「パンどろぼう」シリーズは今 人気の絵本で、私も早くみたいです。2の対面おはなし会は、感染制御室の方から頂いた細かい注意事項の確認 及びぽぽんたからの要望。対面おはなし会は、どの病棟も盛況で、滞在時間を守るのが難しいくらいです。嬉しいけれどやっぱりお互いの感染を考えて感染制御室の方からの注意は守らなければいけないと思っています。

(お話会ぽぽんたの9月の活動は、第2・4水曜日対面お話し会各2セッションと本の貸し出し)

次は先月号掲載の谷内氏の投稿文の後半です。前半は活動への思いや、外来での経験等でした。

### ボランティア研修会によせて（後半）

そしてもう一つのボランティア活動である「手芸クラブ」

手芸クループリーダー・外来メンバー 谷内うらら

外来ボランティアを始めた年の12月 ロビーに3メートル以上もある1本木のクリスマスツリーに出会いました。一年の中でクリスマスが一番好きで、このツリーを見た時にこれに「手作り」の「作品」を飾れたらなーと…日に日に思いが募って、「来年のクリスマス飾り私にやらせていただけませんか？」と言ってしまった自分がいました。OKを頂きましたが、どうしよう？一人ではできない！！ボラ仲間に声を掛けたら、2・3人が快く手伝うよ！と集まってくれ、何とか一年目に飾ることが出来、ホット一息でした。

それから手芸好きのボラさんを募り現在は14名のメンバーで一年かけて作っています。ミシンで作れば早くてきれいに出来ますが、手作りにには同じものを作ってもミシンにはない手の温もりや、一人一人の個性がかもしだす作品の何とも言えない風合いが好きで手造りにしています。メンバー全員が同じ想いを込め

・子どもたちの為 ・通院してくる人の為 ・子どもたちの為に働いてくれる人の為

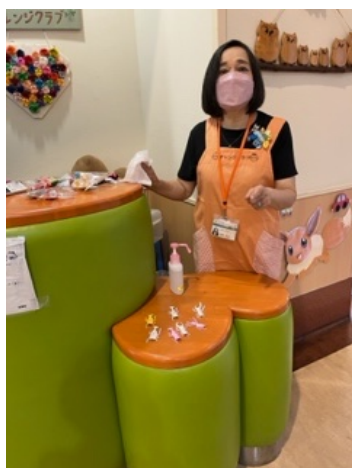
少しでも安らいでくれたり、好きな作品や楽しい作品に出会って笑顔になってくれたらなーと、精を出しています。そして何よりも手作り大好きな私たちが一番楽しんでこの活動が出来ることに倖せを感じています。

3年前から夏飾りも加わりました。コロナの時には得体の知れない恐怖心に心が沈みがちでした。手芸クラブも年間3～5回位しか集まれませんでした。ただでさえ暗くなりがちで、どこもここもロックダウンが続きました。こんな時こそなんとか飾りたいと、みんな家でもくもくと手を動かし、そのおかげで自分たちの心も保たれたように思いました。コロナの間も飾り付けが出来たことは、とても嬉しかったです。

平穏であることの倖せが、どんなに大切なことかとても考えさせられた3年間でした。

人の一番の成長は多様な人との出会いと対話することだそうです。

ボランティア活動を通して沢山人達から数々の嬉しい声を頂き、又、毎年楽しみにしています～という声をかけていただいたことが私達手芸クラブの原動力になり・・・少しづつ個の力も大きくなり、また和の力にもなり、何より、自分達が楽しんで活動を続けていけることは感謝しかありません。



外来ボランティア活動中



研修会で話されている筆者



夏飾り 上の写真は本館から管理棟への通路の飾りつけ、下は正面玄関の飾りつけです。